

令和7年度 高森町立学校における授業時数特例の取組について

高森中央小・高森中学校は、言語（特に英語）能力、情報活用能力、問題解決能力の育成のため、各教科の授業時数の一部を総合的な学習の時間に上乗せし、探究の核となる総合的な学習の時間の充実を図ります。高森東学園義務教育学校も、義務教育学校の特色を生かす教育課程を編成し、授業時数特例校と同様の授業を展開します。

【高森町新教育プラン（第4次）】
高森町研究課題
自立した学習者の育成

	学年	標準時数	上乗せ時数	授業時数
高森ふるさと学 （総合的な学習の時間）	小3	70	15	85
	小4	70	15	85
	小5	70	15	85
	小6	70	15	85
	中1	50	20	70
	中2	70	15	85
	中3	70	15	85

「高森ふるさと学」の35時間をCLILオンライン英語教育として実施します。

- ・授業参観2回実施
- ・TPCで授業の様子配信
- ・各学期に英語でプレゼン発表会を開催
- ・授業に関するアンケート結果を公表

高森の学び

学びを見通す
課題を自ら設定し、解決への課程や方法を見通す力をつけます。

学びを選択する
学びの方法・内容を自ら選択・活用し、他者と協働して課題を解決する力をつけます。

学びを実感する
学びの状況を自ら把握し、学びを調整する力をつけます。

「授業時数特例校」とは？ 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けて、各学年の年間総授業時数を確保したうえで、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習の充実に資する取組を推進する制度です。新たに教育課程を編成して取り組む学校のことで、文部科学省から指定を受けた学校を授業時数特例校といいます。本校は、その指定を受けています。